

理科

1. 理科の目標

中学校理科では、「自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力」の育成を目指します。

2. 評価方法・評価基準

	学びに向かう力、人間性	思考力、判断力、表現力	知識及び技能
評価方法	ア 学習状況観察 (忘れもの・授業態度・発表) イ ノート提出 ウ レポート等の提出 エ ノート内容	ア 到達目標に対する科学的 理解 イ 実験レポートの考察 ウ 定期考査・小テスト	ア 小テスト イ 定期考査 ウ 実験・観察 エ レポート作成 オ ノート内容
評価基準	ア 意欲的に発言・質問・話し 合いに取り組んでいるか。 イ 実験結果をわかりやすくま とめているか。 ウ 期日を守って、実験・観察 結果や考察をまとめ提出でき るか。 エ 内容を理解し、必要事項を 全て記入することができる か。	ア・ウ 理論的に筋道を立てて 考えているか。 イ 自分の仮説を検証するた めに必要な実験方法や結果を 全て記述し、理論的に考察を進 めているか。 ウ 記録・記述内容が適切にわ かりやすくできているか。	ア・エ・オ 学習内容を理解し、答えを記 入できるか。 イ 内容をきちんと理解し、正し い知識を身につけることがで きるか。 ウ 正しい方法で観察・実験がで きるか。

◎ このように3つの観点に分け、それぞれを A～C の3段階で評価する。観点別評価の総括(格評価ごとの A～C を点数化する)を行う。各評価の目安は次の通り。

評価	評価の基準	
A	十分満足できると判断されるもの	目標の80%以上を達成したもの
B	おおむね満足できると判断されるもの	目標の50%以上を達成したもの
C	努力を要すると判断されるもの	目標の50%を達成しないもの

3. 評定について

- ①各観点による評価を点数化したものを総合し、目標の実現状況を5段階で評定する。
- ②評定は5～1の5段階とする。
- ③各段階の評定の目安は次の通り。

評定	評定の基準	
5	十分満足できると判断されるもののうち特に高い程度のもの	目標の90%以上を達成したもの
4	十分満足できると判断されるもの	目標の80%以上を達成したもの
3	おおむね満足できると判断されるもの	目標の50%以上を達成したもの
2	努力を要すると判断されるもの	目標の20%以上を達成したもの
1	一層努力を要すると判断されるもの	目標の20%以上を達成しないもの

4. 1年間の予定

※7学年は週3時間、8・9学年は週4時間

※ひとつの学年を、複数の教員で担当する場合があります。

※担当する学年や分野、指導計画については、変更になることもあります。

	7年生（105時間）	8年生（140時間）	9年生（140時間）
1学期	<ul style="list-style-type: none"> ● 生物の観察と分類のしかた ● 植物の分類 ● 動物の分類 ● 身のまわりの物質とその性質 ● 気体の性質 	<ul style="list-style-type: none"> ● 物質のなり立ち ● 物質どうしの化学変化 ● 酸素がかかわる化学変化 ● 化学変化と物質の質量 ● 化学変化とその利用 ● 生物と細胞 ● 植物のからだのつくりとはたらき 	<ul style="list-style-type: none"> ● 水溶液とイオン ● 酸、アルカリとイオン ● 酸、アルカリとイオン ● 化学変化と電池 ● 化学変化と電池 ● 生物の成長と生殖 ● 遺伝の規則性と遺伝子 ● 生物の多様性と進化
2学期	<ul style="list-style-type: none"> ● 水溶液の性質 ● 物質の姿と状態変化 ● 物質の姿と状態変化 ● 光の世界 ● 音の世界 	<ul style="list-style-type: none"> ● 動物のからだのつくりとはたらき ● 刺激と反応 ● 気象の観測 ● 雲のでき方と前線 ● 大気の動きと日本の天気 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然のなかの生物 ● 自然環境の調査と保全物体の運動 ● 力のはたらき方 ● エネルギーと仕事 ● 星空をながめよう ● 地球の運動と天体の動き ● 月と金星の見え方
3学期	<ul style="list-style-type: none"> ● 力の世界 ● 身近な地形や地層、岩石の観察 ● 火をふく大地 ● 動き続ける大地 ● 地層から読みとる大地の変化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 静電気と電流 ● 電流の性質 ● 電流と磁界 	<ul style="list-style-type: none"> ● 宇宙の広がり ● 科学技術と人間 ● 地域とつながる ● 持続可能な社会をつくるために